様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年６月２１日

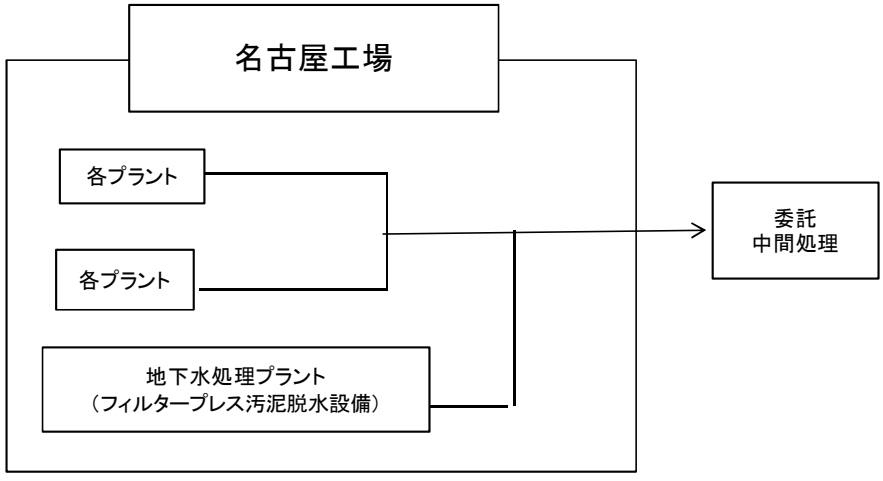
名古屋市長　様

提出者
住　所　東京都中央区八重洲2-2-1
氏　名　三井化学株式会社
代表取締役社長執行役員　　橋本　修
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０５２－６１４－２１２９

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井化学株式会社　　名古屋工場
事業場の所在地	名古屋市南区丹後通２－１
計画期間	令和６年４月１日 ～ 令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

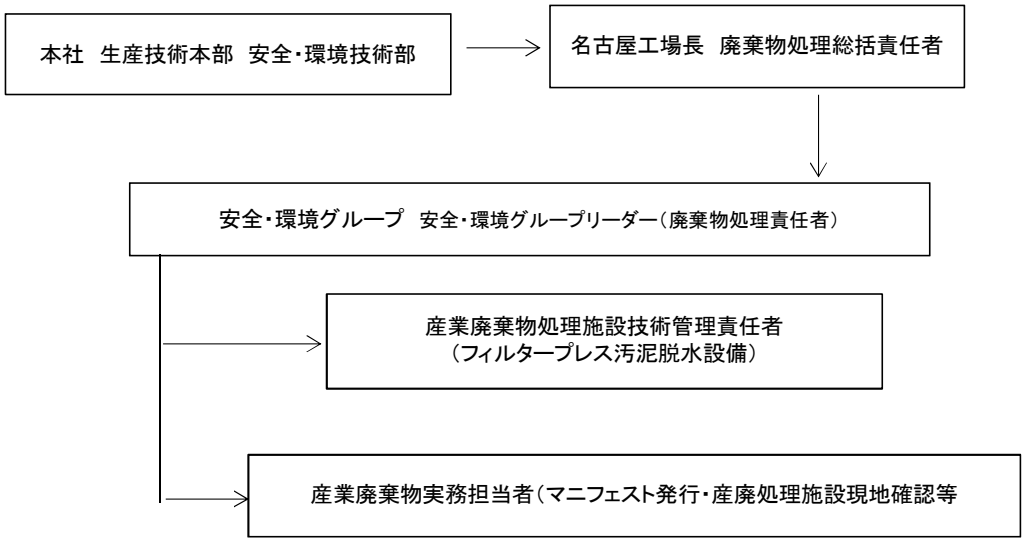
① 事業の種類	１６：化学工業　　１８：プラスチック製造業
② 事業の規模	製品出荷額：187 億円
③ 従業員数	293
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列４番）

120568

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和年５度）実績】 産業廃棄物の種類　「別紙1のとおり」 排　出　量　t　t （これまでに実施した取組） ・再資源化及び再生処理化 ・製造条件の見直しによる原単位の向上
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類　「別紙2のとおり」 排　出　量　t　t （今後実施する予定の取組） ・再資源化及び再生処理化の継続 ・製造条件の見直しによる原単位の向上

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・種類毎に分別し決められた保管場所に処理搬出時まで保管。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記取組みの継続実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　令和５年度）実績】 産業廃棄物の種類：「別紙１のとおり」 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量：　t （これまでに実施した取組） ・特に無し
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類：「別紙２のとおり」 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量：　t （今後実施する予定の取組） ・特に無し

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　令和５年度）実績】 産業廃棄物の種類：「別紙１のとおり」 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量：　t 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量：　t （これまでに実施した取組） ・工場内浚渫汚泥の脱水処理
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類：「別紙２のとおり」 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量：　t 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量：　t （今後実施する予定の取組） ・工場内浚渫汚泥の脱水処理を継続する

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（　令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙1のとおり」	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・処理実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙2のとおり」	
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特に無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	「別紙1のとおり」	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・出来る限り優良認定処理業者に処理委託する。 ・処理委託業者の施設の現地確認を定期的に実施する。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	「別紙2のとおり」	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・新規処理業者の選定は優良認定処理業者を優先的に選定する ・定期的に処理委託業者の施設を現地確認実施する		
	※事務処理欄			

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1　　【前年度（　令和5年度）実績】　　（単位：t）

	廃棄物の種類	汚泥	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	混合廃棄物	
	名称（任意の名称を記入してください）		有機汚泥					ドラム缶等		水銀使用製品	
①	排出量(t)	2.463	290	1894	0.036	23.63	190.736	1.31	0.18	0.55	
②	自ら再生利用を行った量(t)	0	58	0	0	0	0	0	0	0	
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤	自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0.00	58	0	0	0	0	0	0	0	
⑩	処理委託した全量(t)	2.463	174	1894	0.036	23.63	190.736	1.31	0.18	0.55	
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	2.110	0.00	1894	0	23.63	190.736	0.03	0.18	0.55	
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	2.080	58	890	0	22.69	52.73	1.28	0	0.55	
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.030	0	806	0	0.81	48.09	0	0	0	
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

別紙2　　【今年度（令和6年度）計画】　　（単位：t）

	廃棄物の種類	汚泥	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	混合廃棄物	
	名称（任意の名称を記入してください）		有機汚泥					ドラム缶等		水銀使用製品	
①	排出量(t)	2.500	250	1900	0.04	24	190	1.3	0.2	0.6	
②	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
③	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑦	自らの中間処理による減量(t)	0	200	0	0	0	0	0	0	0	
⑩	処理委託する全量(t)	2.500	50	1900	0.04	24	190	1.3	0.2	0.6	
⑪	優良認定処理業者への処理委託量(t)	2.150	0	1900	0	24	190	0.03	0.2	0.6	
⑫	再生利用業者への処理委託量(t)	2.110	50	890	0	23	52	1.25	0	0.6	
⑬	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.030	0	800	0	1	48	0	0	0	
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	